

○アクティブ・ラーニング地域中堅企業研究 (島根・広島)

<プログラム概要>

中国地方 (島根県及び広島県) の中堅企業および観光地を訪問し、フィールドワーク等を行うことで、地域中堅企業から地方創生のあり方、国内産業のあり方および自分自身のキャリア形成のあり方について検討を行う。具体的には、有力企業への訪問とヒアリング、地域観光資源の発掘、地域人材との交流などを中心としたフィールドワークを実施し、地域産業やキャリア形成に関する視野を広げる。なお、本プロジェクトは帝塚山大学と本学が、連携協定に基づき共同実施したものである。

<学生の到達目標>

- 1) 参加経験を通じた自分たちの意見、考え方をしっかりと伝える。
- 2) 訪問した企業の情報を摂取し、地域産業の方向性、中堅企業の戦略について理解する。
- 3) 都心の有名企業とは別の、地方の有力企業への就職という選択肢を検討・研究する。

プログラム期間

2016年6月12日～14日 (2泊3日)

参加者

学生 26 名、教員 5 名 計 31 名



出雲大社で集合写真

6月12日(日)
フィールドワーク



国宝・松山城



天守閣から市内を望む



特別講義① 植田祐市先生
乙部明宏先生
松江の観光の状況と課題について



特別講義② 田邊先生
(神門通りおもてなし協同組合
理事長)



特別講義③ 宮崎雅也先生
(株式会社たじまや社長)

6月13日(月)14日(火)
企業見学



農援隊 (農業支援企業)



安芸高田アグリフーズ株式会社



アルファー食品 (第1班)



広島駅弁当株式会社



清和鉄工 (第2班)



オタフクソース株式会社

学生の声 (抜粋)

- ・正直私は、中小企業には低い評価をしていた。「いつもぎりぎりのところで経営している」「なんのためにやっているかわからない」など。しかし、5社の中小企業を訪問して私は中小企業の大切さを知った。
- ・私は、農業という分野を全く視野に入れてなかった。しかし、農業でも外国と繋がりを持ち、栽培しているということに非常に驚いた。そしてアイメック栽培というのは、低コストで高付加価値商品の安定生産ができる。それにこの技術は、提供されており、私はもし機会があれば、アイメック栽培でレモンを栽培し、メイドインジャパンというブランドで中国の富裕層に売ってみたいと思った。
- ・きれいな街並みに感動した。
- ・利益追求だけでなく、地産地消に代表されるように地域に根付いた企業づくり、つまり工場見学などの地域貢献を欠かさず、地元から愛される企業、このような地域間の連携が新たなイノベーションを生むきっかけの1つになるのではないかと考えた。
- ・中堅企業訪問として企業をまわってきましたが、社長さん方皆、会社の社員・従業員を大切にしている、こういった温かみのある会社で働きたいと思いました。顧客と社員どちらも大切にしているからこそ良い会社が作り上げられるのだと改めて思いました。
- ・今まで一般企業への就職しか考えていなかったで、島で暮らすような生活もあるのだと、自分の中で選択肢が増えたと思います。出雲大社などの観光名所も巡れたこと、普段ではできない帝塚山大学の生徒と交流できたことなど、講義などでしか接することのなかった先生と話せたこと、改めてこのアクティブ・ラーニングに参加してよかったと思いました。今後も小豆島などのアクティブ・ラーニングがあれば参加したいと思いました。

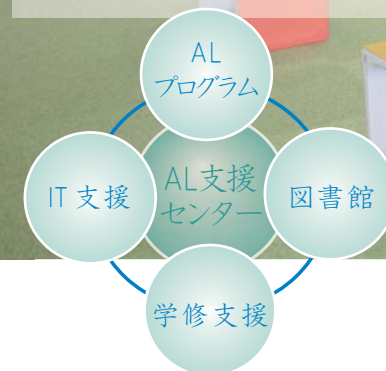
平成 29 年 4 月 1 日、開学当初より実践してきた
「アクティブ・ラーニング」をさらに活性化すべく、新たに
『アクティブ・ラーニング支援センター』を図書館にオープン。

これまで実践してきたゼミによる実学教育を進化させ、一般科目でのアクティブ・ラーニング、学外活動を中心とした実践型プログラム、学内を中心としたプロジェクト型学修など、さまざまな教育手法を展開し学生の学びを支援します。教員の「こんな授業をしてみたい」、学生の「こんな学び方をしてみたい」を実現し、全学的な教育学修支援を通じて、「実学教育」を一層推進していきます。

「アクティブ・ラーニング支援センター」では、以下の支援を行い、総合的に学修をサポートしていきます。

- 学修支援 …… 授業内容の質問・支援、レポート作成支援、論文指導、プレゼンテーション支援、資格取得支援
- アクティブ・ラーニングプログラム支援 …… アクティブ・ラーニングプログラムの開発・支援
- IT支援 …… ITサポート、IT系資格取得支援
- 図書館 …… 図書の貸出、書籍検索支援

同時に、同センター施設内に多様なシチュエーションに対応した学修施設を用意し、学生にとって馴染みやすく快適に自習・コミュニケーション、グループワークができる環境を提供します。



<<大学の教育改革を推進する、改革総合支援事業>>

文部科学省「平成28年度 私立大学等改革総合支援事業」全タイプ選定されました。これは714大学中トップ(全タイプ選定は9大学のみ)であり、学生ファーストの教育改革に成功した証です。今後も教職員とご父兄が手を携え、企業のご協力や地域住民・自治体のご支援を頂きながら、学生の能動的学修や主体的学びを実現するための教育改革を力強く推し進めて参ります。

アクティブ・ラーニング支援センター長 ごあいさつ

本学は、寺島実郎学長の「手作り感のある教育」、田村邦彦学長と田村嘉浩理事長の「手塩にかけて育てる」を教育方針としています。この教育方針を実現すべく『アクティブ・ラーニング (AL) 支援センター』では、12名の専門教職員が、学修支援・IT支援・図書サービスなどワンストップの教育サポートや、海外研修・企業研究・地域研究・キャリア・教養・資格など国内外での39に及ぶALプログラムを提供しています。また、FD (Faculty Development) 活動の一環として、AL技法の研究・開発、高大連携プロジェクトの推進、教育や学生の実態把握を図り、教員の授業力・教育力・教員力と職員の専門性の向上に努めております。今年4月からは附属高校2校と連携し「高大接続アクティブ・ラーニング研究会」も創設しました。

このような教育サポート、ALプログラム、AL技法の研究・開発などを通じて、①学生と教員が切磋琢磨して知識創造と相互成長を実現する、②学生の問題解決力や主体的に考える力を育成する、③多摩地域に対する熱い思いや愛情を持って地域貢献し、ひいては自信と誇りを持って国内外で社会貢献できる志ある人材を輩出することをミッションとしています。



経営情報学部 教授

金 美德 / キム ミトク

1962年兵庫県生まれ。早稲田大学大学院国際経営学修士・国際関係学博士課程修了。(株)三井物産戦略研究所を経て現職。専門は、国際経営学・国際関係学。文科省・大学の世界展開力強化事業委員会・キャンパスアジア事業(岡山大・中国吉林大・韓国成均館大によるグローバル人材育成)推進メンバーおよび編纂委員会副委員長として日中韓経済学教科書『東アジアの経済協力と共通利益(編著)』の制作や合同講義などグローバル人材の育成とネットワーク化に取り組んでいる。

平成29(2017)年度 アクティブ・ラーニングプログラム一覧

海外研修・留学導入

No	プログラム名	プログラムの概要	担当教員	活動学期
1	アジアダイナミズム研修 — 済州平和フォーラム —	済州平和フォーラムへの参加を通じてアジアダイナミズムに対する認識を深める。	趙	春
2	韓国文化・韓国語研修(冬季)	冬季に韓国を訪問し、韓国文化体験と韓国語研修を現地にて実践する。	趙	秋
3	大学・広東財経大学「共通科目」 国際交流プログラム	中国 広東財経大学を訪問し、共通テーマに基づき双方の学生によるプレゼンテーションとディスカッションを実施する。	パートル	春・秋

企業研究

No	プログラム名	プログラムの概要	担当教員	活動学期
4	志プロジェクト	多摩地域の企業と学生との相互交流を図り、人材育成と地域活性化に資する。多摩地域の「志企業」を学生が取材し、学生目線での会社案内を作成する。	梅澤	春・秋
5	地域中堅企業研究	各地域の中堅企業及び観光振興の現場を訪問し、フィールドワークを行うことで地域中堅企業から地方創生のありかた及び自己のキャリア形成のあり方について自主的な研究を行う。	金・丹下	春・秋

地域研究

No	プログラム名	プログラムの概要	担当教員	活動学期
6	地域学生センター	多摩大学が運営する学生寮に入居している学生を対象とし、聖ヶ丘地域を対象とした地域貢献活動を行い地域のニーズに応えることで地域住民としての責任と自覚を涵養する。	中庭・中澤	春・秋
7	地域系アクティブ・ラーニング プログラム(小豆島)	小豆島を対象として地域とビジネスに関して学ぶ。地域のビジネスの現状と課題を見出し、映画「二十四の瞳」のロケ地としての知名度を観光資源としていかに役立てるかを学んでいく。	中澤・梅澤・大森 中庭・松本	秋
8	多摩データサイエンス研究会	多摩地域において問題となる事項について、データサイエンスの手法を用いた問題解決の方法を研究し、実践し、報告する。	今泉・久保田 佐藤	春・秋

学修支援

No	プログラム名	プログラムの概要	担当教員	活動学期
9	中学校学習支援プログラム実践	中学校における学習支援会に参加し、教授スキル・対人教育スキルの習得を目指す。	大森・齋藤S	春・秋
10	多摩大学アクティブラーニング・ ポイント・プログラム・サポーター (TAPPS)	2017年度より開設される学修支援室に学生運営スタッフとして参加し、自らもアクティブ・ラーニングのスキルを学び、支援を必要とする学生に提供する。	小西	春・秋

キャリア

No	プログラム名	プログラムの概要	担当教員	活動学期
11	公務員試験研究・公務研究	公務員試験の試験科目を勉強することで公務員試験対策に加え、SPIをはじめとする就職活動において一般に要求される「社会人としての一般知識」を身につける。	清松	春・秋
12	競技スポーツをめぐる マネジメント活動	競技スポーツ活動を通じた、組織のマネジメント、広報、地域貢献の活動を計画的に展開し自己の成長に結びつける。	杉田	春・秋
13	短期・複数インターンシップ	社会人への育成とリわけ就業意識を高め実習業務への取り組み姿勢、コミュニケーション力、マナーを涵養する。	浜田	春・秋
14	長期インターンシップ (株式会社エー・ピーカンパニー)	エー・ピーカンパニーが運営する各店舗でアルバイトをしている学生のうち勤務成績が優良な者を対象に、就職支援講座「ツカラボ」の受講及び勤務店舗以外で行う長期インターンシップを経験する。	金子・清松 浜田	秋

知識・教養

No	プログラム名	プログラムの概要	担当教員	活動学期
15	特別講座	寺島学長監修の下、毎回各界の識者による講演がリレー形式で展開される。一般市民の聴講者とともに、社会の第一線で活躍・発言されている講師の話を直接聴講する。	小林・金	春・秋
16	インターゼミ(社会工学研究会)	寺島学長が主催し、大学院から両学部(学生)まで、年次も様々な学生が参加するゼミ。教員も専任・客員、学部・専門領域横断で配置し、グループ別に課題を設定して、1年間かけて「課題解決型の共同研究」に立ち向かう。	金	春・秋
17	伝統文化体験プログラム	将来、グローバルな活躍をするために必要な日本文化に関する知識と教養を身につける。(歌舞伎鑑賞と歌舞伎講座、伝統芸能館見学、日本橋老舗見学等)	中村(そ) 渡辺(幸)	春・秋
18	ICTクラブ	データサイエンス、プログラミング、3DCG等ICT関連各論を先取り学習するもの。また、早期卒業、多摩大学大学院データサイエンスコースに進学する学生のサポートを行うもの。	今泉・出原 久保田・佐藤 彩藤	春・秋
19	入学前教育	多摩大学入学予定者を対象とし、入学後の学習及び大学生活を有意義にするためスクーリング及びe-ラーニングを行う。(集合研修、大学が行う企画への参加、課題レポート作成等。)	清松	秋

資格

No	プログラム名	プログラムの概要	担当教員	活動学期
20	販売士検定(3級、2級、1級)	検定合格により単位を認定する。	金子・清松	春・秋
21	日商簿記検定(3級、2級、1級)	検定合格により単位を認定する。	金子・清松	春・秋
22	ハングル能力検定試験	検定合格により単位を認定する。	趙・朴	春・秋